

住心院文書

首藤善樹・坂口太郎・青谷美羽 編

▶ A 5判・230頁

定価：本体6,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1744-1

2014年3月刊行予定

全国の修験道本山派山伏を統べる聖護院門跡の院家先達として、全国的に広大な霞を所有していた京都の住心院(じゅうしんいん)。また明治初年の神仏分離までは、京都東山今熊野の新熊野神社の別当も、代々住心院の住職が兼ねていた。

その住心院に現蔵される貴重な古文書や、出来る限りの旧蔵文書も採集し、さらに若干の関連史料をくわえて、室町時代いらいの先達の姿を書きとどめ、修験道史を研究するうえで根本史料となる文書群202点を活字化。

〇〇 予定収録史料 〇〇

関東下知状/法輪院良瑜御教書

甲斐国武田氏熊野参詣交名写/千光院道意御教書
 若王子忠意証判状写/檀那願文/御師駿河守良忠書状
 熊野参詣先達職安堵状/津江玄猷・井口尊雅連署書状写
 聖護院道興書状/天王寺道者知行安堵状写/弁僧都殿尊讓状
 後土御門天皇口宣案写/甘露寺元長書状写
 檢核准后御教書写/檀那并房舍等讓状/今川氏親書状
 聖護院道増書状/淺黄貝緒免許状/小山田信有書状
 平手政秀書状/穴山祐清書状/今川義元書状/毛利元就書状
 熊野参詣道先達代官職安堵状写/武田義信書状
 持福院有誓・新熊野成慶連署書状草案/武田信玄書状
 足利義昭御内書/徳川家康黒印状/是庵如雪書状
 本多広孝書状/酒井忠次書状/秦比高寛書状
 杉本坊周為・雜務坊源春連署書状/後陽成天皇口宣案
 聖護院興意親王令旨/先達代官補任状/池坊専好屋敷讓状
 金地院崇伝・板倉勝重連署書状/勝仙院増堅書状
 後水尾天皇口宣案/徳川秀忠黒印状
 明正天皇口宣案/上野国先達職安堵状/聖護院道見親王書状
 若王子澄存処分状/江戸幕府高家衆達書写/後西大皇口宣案
 靈元天皇口宣案/新熊野社別当職補任状
 中務光有・岩坊祐勝連署書状/東山天皇宣旨
 先達職免許状/東山天皇口宣案/紫房結袈裟免許状
 中御門天皇口宣案/後桃園天皇口宣案/権僧正勅許請文写
 光格天皇口宣案/仁孝天皇口宣案/孝明天皇綸旨
 明治天皇口宣案/平等院由緒書/三曆
 住心院古代中興歴数并勝仙院歴代/住心院伝記
 六角興緒故実/住心院過去帳 ほか

住心院文書

六六 穴山信君書状
(甲斐守)
 甲州下山 信君
 勝仙院御同宿中
 去夏勝蔵坊上洛之刻、及御報候。参着候哉。無御心元候。随觸防、含口上申候趣、定可被申入候哉。悉皆貴僧以御馳走、被仰調候者、可為喜悅候。子細大善坊可申達候条、不能筆候。恐々謹言
 九月十八日 信君(花押)

六七 聖護院道増書状
 弁兆日夜之苦勞、無是非候。此由快俊ニ申度候。又架致欠事候。急便ニ下給候者、可為祝着候。
 新門主人峯成就之事、各粉骨之故相調候。大慶此事候。随而増堅出世之事、相届之様聞候之間、心安候。小篠・神仙格番之事可然候。惣別弘安之式目書札之礼儀記候物ニ、委相届候歟。熊野并新熊野之長床、京都之極官与戒脇次第之由、謎相見候之間、当時若輩ニて長床之宿老ヲ各番者、一段之規模

(組見本)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
<http://www.shibunkaku.co.jp> E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行：思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	住心院文書		本体6,000円(税別) ISBN978-4-7842-1744-1
お名前		tel		
		e-mail		
ご住所	〒			
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)			

本書HPのQRコード

書店番線印

東寺百合文書 【既刊10冊】

京都府立総合資料館編

東寺に襲蔵されてきた奈良時代から江戸時代初期まで約900年にわたる、総数18,000点・27,000通におよぶ日本最大の古文書群である国宝・東寺百合文書。本史料集には「ひらかな之部」刊行中の『大日本古文書』未収録の「カタカナ之部」を翻刻。(最終全60巻の予定)

- 第1巻(イ函・口函一) 490頁/本体9,500円 ISBN4-7842-1182-9
 第2巻(口函二) 446頁/本体9,500円 ISBN4-7842-1224-8
 第3巻(口函三) 444頁/本体9,500円 ISBN4-7842-1266-3
 第4巻(口函四・ハ函一) 454頁/本体9,500円 ISBN4-7842-1319-8
 第5巻(ハ函二) 454頁/本体9,500円 ISBN978-4-7842-1364-1
 第6巻(ハ函三・ニ函一) 432頁/本体9,500円 ISBN978-4-7842-1435-8
 第7巻(ニ函二) 450頁/本体9,500円 ISBN978-4-7842-1480-8
 第8巻(ニ函三、ホ函、ヘ函、ト函一) 442頁/本体9,500円 ISBN978-4-7842-1532-4
 第9巻(ト函二・チ函一) 446頁/本体9,500円 ISBN978-4-7842-1585-0
 第10巻(チ函二) 478頁/本体9,500円 ISBN978-4-7842-1657-4

***禁裏・公家文庫研究 【既刊4冊】**

田島公編

勅封のため全文が不明であった東山御文庫本など近世の禁裏文庫収蔵の写本や、交流がある公家の文庫収蔵本に関する論考・データベース・史料紹介を収載

- ▶(一・二) B5判・各390頁/各本体9,800円 ISBN4-7842-1143-8・1293-0
 (三) B5判・496頁/本体11,800円 ISBN978-4-7842-1414-3

南都寺院文書の世界

勝山清次編

東大寺宝珠院(法華堂文書・宝珠院文書)と興福寺一乗院坊官二条家(一乗院文書・一乗院御用日記)に伝来した文書の3年間に渡る調査・研究の成果をまとめた一書。南都寺院の寺領やネットワークに関する研究をこれらの史料をもとに展開する。論考8篇と史料翻刻3篇収録。

- ▶A5判・350頁/本体5,800円(税別) ISBN978-4-7842-1369-6

***日本近世の宗教と社会**

菅野洋介著

奥州と関東を主に、戦国期以降の仏教・神道・修験道・陰陽道等と地域社会とのかかわりを、東照宮や寛永寺を中心とした幕府権威をも視野にいれて考察。本所権威の在地社会への浸透、在地社会における諸宗教の共存と対抗、民衆宗教の展開とそれを規定する社会情勢、そして在地寺院など宗教施設の「場」としてのあり方を追求する。

- ▶A5判・380頁/本体7,800円(税別) ISBN978-4-7842-1572-0

撰関院政期思想史研究

森新之介著

撰関院政期における民衆仏教史観の研究史を整理し、思想家たちや事象の考察・実証研究を深めることにより、通説としての民衆仏教史観と切り結び、その実像を鋭く描き出す。日本の思想史上、極めて重要な時期の一つとされる撰関院政期の思想史叙述に修正を迫る一書。

- ▶A5判・352頁/本体6,500円(税別) ISBN978-4-7842-1665-9

中世文化と浄土真宗

今井雅晴先生古稀記念論文集編集委員会編

常に日本中世宗教史研究を先導してきた、筑波大学名誉教授・今井雅晴先生古稀を記念して、国内のみならず海外にもおよぶ幅広い層の研究者が、親鸞と浄土真宗史研究の進展を期した最新研究28本を寄せた大冊。

- ▶A5判・654頁/本体13,000円(税別) ISBN978-4-7842-1636-9

中世契約社会と文書

村石正行著

売買・貸借などの契約関係を題材に、それに関わる契約者双方の文書作成のあり方を検証、「塵芥集」における法慣習なども援用しながら、双方向の文書授受とそれにまつわる文書作成が一般的におこなわれていた可能性を示す。

- ▶A5判・352頁/本体7,500円(税別) ISBN978-4-7842-1668-0

日本中世の社会と寺社

細川涼一著

律宗・律僧が中世社会で果たした役割を中心に、女性や被差別民など、歴史の主流からこぼれ落ちがちなものたちへ常にまなざしを注ぎ、境界領域から歴史を問い続けてきた著者の主要な研究成果を一書にまとめる。

- ▶A5判・436頁/本体7,700円(税別) ISBN978-4-7842-1670-3

歴史における周縁と共生—女性・穢れ・衛生—

鈴木則子編

仏教と神道等の諸宗教における女性認識の諸相、血穢などに対する地域社会の対応の展開、伝統的医学・近代医学双方からみた病気や女性身体観の変容、近代衛生思想における女性役割の位置づけ等について、新しい視点から提示した共同研究の成果。

- ▶A5判・368頁/本体6,800円(税別) ISBN978-4-7842-1714-4

東寺文書と中世の諸相

東寺文書研究会編

日本の古文書を代表する史料群であり、中世の基本史料である東寺文書。そのうち東寺百合文書は1997年に国宝指定をうけている。本書は、東寺文書に魅せられた中世史研究者により、1994年以降続けられた東寺文書研究会での研究成果の第二弾。研究会の報告を基礎に最新の成果を披露した19篇。

- ▶A5判・654頁/本体11,000円(税別) ISBN978-4-7842-1578-2

***幕藩権力と寺院・門跡**

杉田善雄著

思文閣史学叢書

宗派・教団単位に考察されてきた従来の研究に対し、中世寺社勢力の中心であった顕密系寺院の近世的あり方を分析することによって、江戸幕府の寺院行政の展開をより明瞭に解明。旧寺社権門の頂点に位置した門跡を分析対象とし、近世における門跡制の特質を明らかにする。

- ▶A5判・320頁/本体7,200円(税別) ISBN4-7842-1166-7

石山寺の信仰と歴史

鷲尾遍隆監修/綾村宏編

琵琶湖畔瀬田川のほとりに荘重な伽藍を構える石山寺は、奈良時代、聖武天皇の勅願により創建され、古くから観音信仰の聖地であった。多くの人たちによってその信仰と文化が育み守られてきた名刹・石山寺の信仰・歴史・美術・文学・経典を、第一線の研究者が、豊富なカラー図版とともに解説。オールカラー、図版150点。

- ▶A5判・180頁/本体1,800円(税別) ISBN978-4-7842-1387-0

法然上人絵伝の研究

中井真孝著

知恩院本『法然上人行状絵図』の成立、絵伝諸本の個別研究をはじめ、専修念仏に先立つ百万遍念仏の歴史的展開を考察した2論文、古代仏教に関する論考4編を含む、合計19編からなる。今後の法然上人伝記研究を進める上での基本文献として貴重な一冊である。

- ▶A5判・478頁/本体9,500円(税別) ISBN978-4-7842-1694-9

天龍寺文書の研究

原田正俊編

京都嵯峨の名刹・天龍寺の古文書は、仏教史・寺院史のみならず多数の朝廷・幕府発給の文書、荘園関係文書を含み、政治史・社会経済史研究に必須の文書群。鎌倉時代～慶長5年の中世天龍寺関係文書および関連諸塔頭文書を翻刻・掲載し、研究編には解説・論考を収録する。

- ▶A5判・716頁/本体14,000円(税別) ISBN978-4-7842-1571-3

戦国大名佐々木六角氏の研究

村井祐樹著

これまで実証的な研究が不十分であった戦国大名佐々木六角氏について、可能な限り一次史料を用い、六角氏や家臣の動向、実態など基礎的事実を明らかにする。また附編として、応仁元年(1467)～元和6年(1620)の、六角氏及び家臣の名が見える記録類を全て網羅した230頁におよぶ史料集の稿本を付す。

- ▶A5判・530頁/本体11,600円(税別) ISBN978-4-7842-1663-5

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
 電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。